

授業概要

報復は野蛮であり、人は他者を赦すべきだという考え方があります。一方で、安易に相手を赦すことも、自分の尊厳や権利を失うことに繋がり、望ましくないかもしれません。この講義では、一人ひとりが、自分たちがどのような社会を作っていくべきかという観点から、こうした問いを引き受けられることを目指して講義します。前半はこうした問題を検討するために「尊厳」や「権利」といった倫理学の基本概念を一つ一つ学びます。後半はそれをもとに「赦し」と「報復」について考察します。

授業計画

第 1 回	倫理学は何をすところか
第 2 回	人を尊重するとはどういうことか——カントの倫理学
第 3 回	なぜ人は皆平等なのか——応報
第 4 回	自分の権利を大切にしない人は何に反しているのか——自然法
第 5 回	人格をもとにして社会を考える
第 6 回	最大多数の最大幸福とは——功利主義
第 7 回	自分のことを自分で決める——自律
第 8 回	不幸をもとにして共感を考える
第 9 回	レポートの書き方
第 10 回	脆弱性をもとにして赦しを考える——ギリシア悲劇
第 11 回	報復はなぜ避けるべきなのか——古代イスラエル
第 12 回	報復によって得られるものはあるのか——応報としての死刑の意味
第 13 回	赦しによって失われるものはあるのか——功利主義による刑罰の正当化
第 14 回	李徴を赦せるか——古代哲学、パスカル、ヘーゲルと山月記
第 15 回	全体のまとめ
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・倫理学の主要なトピックについて理解することができる。
- ・現代の課題について、様々な視点から問題に向き合うことができる。
- ・現代の課題について、他者に関かれながら、自分がどのように考えるかを表現できる。

履修上の注意

- ・「倫理学」を履修しておくことが望ましいですが、初心者にも十分に配慮します。
- ・遅刻3回で欠席1回とします。ただし、初回講義は履修上の注意を行うため必ず出席してください。
- ・「質問」は可能な限り、いつでも、なんでも、対処します。

予習復習

・各講義開始時に前回の簡単な復習を行います。歴史事項的な内容については筆記試験対策も兼ねてしっかりと復習すべきです。

・倫理学でも、哲学的に「考えること」と「言葉を使うこと」は予習の課題となります。講義の最後に、簡単な復習課題を課す予定です。

評価方法

- ・筆記試験（テーマ事前指定）80%
- ・平常点（リアクションペーパー）20%

テキスト

特に指定しません。参考となる、哲学者の著作や、日本語で読める文献については、各講義において紹介します。